

問い合わせ先

第二管区海上保安本部

海洋情報部海洋調査課長 道順

TEL 022-363-0111(内線2530)

平成17年 10月11日

気仙沼東湾付近で沿岸測量等を実施

～ 精密な海底地形データを海図に反映するために！ ～

第二管区海上保安本部では、船舶航行の安全を図ることを目的に、平成17年10月17日から11月4日までの間、本庁測量船「天洋」(430トン、船長 吉田 浩平)により気仙沼東湾付近の海底地形をマルチビーム音響測深機を使用して精密に測定します。この成果は、海図W1099「気仙沼湾」及び関係海図、水路誌の最新維持の資料として使用します。また、沿岸測量に合わせ、同沿岸海域の流況把握のため海流観測を行います。この観測結果は、海難救助のための漂流予測データとして使用するとともに、二管区ホームページの海洋速報等で最新情報として提供します。

(二管区HPアドレス: <http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN2/kaisyo/index.html>)

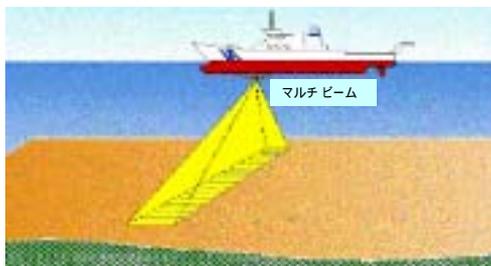
沿岸測量実施期間中には、気仙沼港で行われる「気仙沼本吉地方産業祭り」に合わせ、10月23日(日)に一般公開を行う予定です。

測量船 天洋

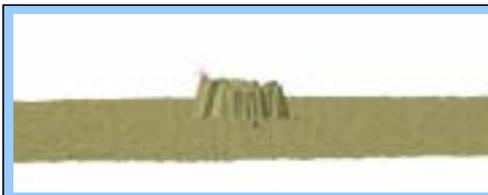


総トン数: 430トン
主要寸法:(全長×巾×深):56.0×9.8×5.0m

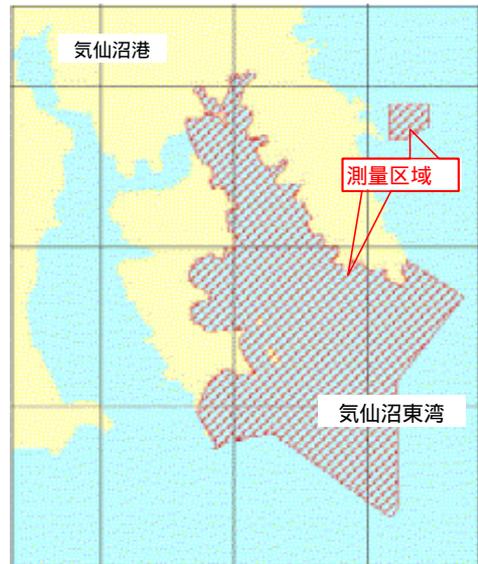
マルチビーム音響測深概念図



マルチビームによる測深画像例(沈船)



測量区域図



マルチビーム音響測深機

測量船の船底から船の左右両方向に複数の指向性の高い音響ビームを放射することで海底地形を横一直線に計測し、船の進行方向に海底地形を面的に連続測定します。

また、水深の最大約7.5倍の幅でデータが取得できるため効率的に測定することができます。